

市民の死亡原因の第1位はがんです。そのなかでも、女性特有のがんである子宮頸がんは、性行為により発がん性ヒトパピローマウイルスに感染することが原因で罹患する、20歳代から40歳代に多いがんです。今回は医師の仲栄美子さんの話を交え、子宮頸がんの予防の大切さについてお伝えします。



たかき医院（土市5）  
医師 仲 栄美子 さん

### 予防・早期発見のために大切なこと

子宮頸がんの予防・早期発見のためには、性行為の経験がない若年層のうち「子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）」を接種し、検診を定期的に受診することが大切です。子宮頸がんは、ワクチン接種と検診を組み合わせることで、子宮頸がんによる死亡を予防することができます。

### 子宮頸がん ワクチン接種について

子宮頸がんワクチンは、年齢や性行為経験の有無にかかわらず、予防効果があります。若年層ほど予防効果は高いですが、定期接種年齢を過ぎた人も、積極的に接種を検討しましょう。

### 日ごろの診療で感じる 十日町市の傾向

20歳代から40歳代にがん発見のピークがあります（下図参照）。その中でも、これまで一度も検診を受けたことがない人や、長期間受診していなかった人が、進行がんの状態で見えられています。特に、若年層は検診を受けている人が少ない印象を受けます。

### 若年層もわがごととして 考えましょう

日本では、年間12000人が子宮頸がんの治療で子宮を失っています。子宮を失うことは、将来妊娠ができなくなるということなのです。性行為の経験がある人は、子宮頸がんを患う危険性があることを頭において、20歳からという年齢に関係なく、子宮頸がんの定期検診を受診しましょう。

※市の子宮頸がん検診の対象年齢は20歳以上です。対象年齢以外で受診を希望する人は、医療機関に相談してください。

### 精密検査は必ず受診

がんを早期に見えれば、子宮の悪い箇所を切除する手術だけで治療が完了します。検診を受診した結果、精密検査が必要とされた人は、必ず医療機関を受診しましょう。

### がん予防講演会の録画映像をぜひご覧ください

令和5年3月2日（木）に、子宮頸がんについての講演をしていただきました。市公式 YouTube チャンネルにて講演会の録画映像が動画配信中です。

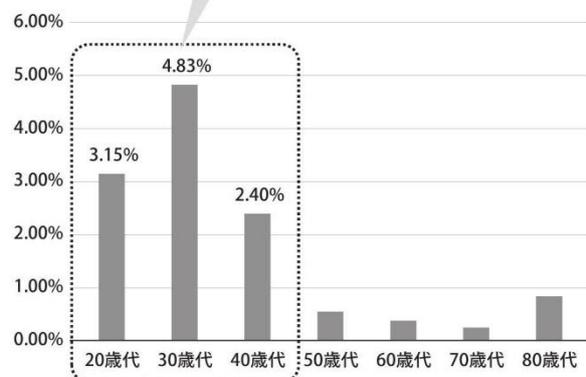
### 至急（子宮）のお知らせ ～子宮頸がんから未来の命を守る～

講師：たかき医院 産婦人科医師 仲 栄美子 先生  
市公式 YouTube チャンネル「TokamachiCity」  
二次元コードもしくは URL からご視聴ください。

URL 「<https://www.youtube.com/watch?v=WW-bMvdi4FU>」



20歳代から40歳代に多いがんであることがわかります



「新潟県がん報告」より  
市内年齢階級別子宮頸がん・異形成<sup>※</sup>発見率  
(令和元年度～2年度平均)

※異形成…がんの前段階（前がん病変）のこと